

第 8 回 議会活性化特別委員会 概要報告

年 月 日	令和 6 年 1 月 1 6 日	会場	第 1 委員会室	案件	議会の活性化について
出席委員	東川孝義、高野美枝子、高橋伸典、川村幸栄、今村芳彦、谷 聡、山崎真由美				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

審査及び報告事項

1 行政視察について

① 概要について

日程 令和 6 年 1 月 22 日（月）～24 日（水）

視察先 栗山町、登別市、芽室町

② 行政視察報告書について

作成者 栗山町（高野、今村）

登別市（高橋、谷）

芽室町（川村、山崎）

作成期限 令和 6 年 2 月 16 日（金）

③ 行政視察に係るアンケートについて

各視察先におけるテーマに基づき、事前に依頼してある質問事項についてアンケートを行い、今後の議会活性化特別委員会における議論を深める資料とする。

提出期限 2 月 8 日（木）

2 常任委員会の数・運営について

議会活性化の具体的な取組項目の一つである常任委員会の数・運営について、前回以降の議論経過について報告した。

（市政クラブ）

現状の委員会体制を維持するのは困難であり、大幅な見直しが必要になるのではないかと。

（市民ネット）

現状は欠席者が出ているが、2 委員会であればやっていけないという考え方ありきではなく、3 委員会として決定したときの考え方、有用性、前任期で話し合った中身を再度確認しながら十分に議論を尽くしたうえで、常任委員会の数を決定していく方向が望ましい。

（公明）

当初から 16 名になれば 2 委員会が望ましいと考えている。しかし、3 委員会にすると

いうことは市民に言っているので、決まった時点で市民にしっかりと報告したうえで議決することが重要だと思っている。

(日本共産党)

市立大学を抱え、大きな病院を抱えている名寄市の中で、3委員会の中でそれぞれ議論を重ねていくということが必要だろうと思っている。定数減により委員も少なくなり、十分な審査ができるのかということが大きな課題と思うが、委員が増えたから十分な審査が行われるのかと思っている。行政側とのやり取りも含めて充実したものにしていくことが最初に必要なことだと思っている。

委員外議員として参加する方法もあると思う。

その他意見

- ・ 慎重な議論も必要だが、スピード感を持って臨むべき。
- ・ 各部署に横断する課題もあるので、人数がしっかりと揃った中で議論し課題解決に向かっていくべきではないか。
- ・ 病院や大学を抱え、大変重要な委員会議論が求められるので、多様な意見が出されなければいけないと思う。
- ・ 委員会に臨む姿勢について見直しをした方がよい。

(委員長)

まずは現状をどの様に受け止め、今後どのような形で進めていくことが一番望ましいのかについて、次回の委員会で一定の方向付けをしたいと考えている。

以上で第8回議会活性化特別委員会を終了した。